

(株)トイ・ファーム

可児市・広告業

従業員数 / 男性6名 女性11名 計17名 ※令和7年10月現在

エクセレント
POINT

- ① 時間外を強いる取引先との取引を辞退
- ② ビジネスチャット活用で進捗を共有し、フォローしやすい関係を構築
- ③ 「サブスク手当」で良質なインプットを応援



トイ・ファームでは、未経験で入社した「子育て中のお母さん」も制作現場で活躍中。働き方の見直しを進めたことで子育てとの両立がしやすくなった。

「残業が当然の業界」という常識を覆す

広告や映像制作、イベント企画・運営に携わる企業は、昼出勤や夜中までの残業が未だに珍しくないとされている中、トイ・ファームでは悪しき習慣を改めるべく、2022年からさまざまな制度改革に乗り出した。

残業を減らすため、就業時間を午前9時から午後6時を基準とし、時間外勤務は許可制を導入。業務マニュアルや作業手順書の作成、プロジェクト管理の見直しも進め、生産

性向上に努めた。クライアント都合で時間外勤務が発生する事案もあつたため、時間外を強いる取引先については割り切つて取引を辞退。二時的に受注は減つたが、営業活動の強化等で盛り返しつつある。これらの結果、イベントや夜間のロケ以外の時間外勤務は、ほぼ0を達成。19年度は43%だった有休使用率が、23年度は100%となった。

人材採用についても見直しを実施。以前は高いスキルを持った経験者らを中心に採用してきたが、4年ほど前からはスキルや経験を問わない採用基準へと変更した。その結果、子どもがいる女性からの応募が多数あり、現在は女性管理職を含めて7人の「子育て中のお母さん」が活躍している。子どもの急な体調不良等に対応できるよう、「ビジネスチャットLINE WORKS」のグループ機能上で日常的にやり取り



社員同士の対面での打ち合わせでお互いの進捗状況を確認し合うのはもちろんのこと、ビジネスチャットでも日常的にやり取りを行い、フォローし合える状態になっている。

を行い、フォローし合える状態になっている。

他にも福利厚生としてエンタメ分野のサブスクリプション料金を会社が負担する「サブスク手当」を支給(月額1500円まで)。ほとんどの社員が活用し、「良質なインプットの後押しとなり、仕事のヒントにもつながっている」などの声が上がっている。